

うえだ 環境市民会議 News

第57号
ニュース

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのプロジェクトチームにも参加できます。参加ご希望の方は、生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

この情報誌は自治センター、公民館、図書館、情報ライブラリー、市生活環境課の窓口で配布しております。

発行：うえだ環境市民会議

〒386-8601 上田市大手一丁目11-16
上田市生活環境課内

電話：0268-23-5120

FAX：0268-22-4127

E-mail seikan@city.ueda.nagano.jp

信大環境学生委員会のミニ講演&総会

6月11日に上田駅前ビル「パレオ」で信大環境学生委員会のミニ講演とうえだ環境市民会議の総会が開かれました。ミニ講演では信大の武田先生から環境学生委員会のこれまでの活動が説明され、続いて学生の須見さんから新型コロナの影響で2年間活動ができず、後輩への引継ぎが上手くいっていない様子と今後の活動で留意すべき点をアンケートに基づき分

かり易く話されました。中でも出された意見を否定しないことと、組織の第一印象がメンバーを増やす際のネックになっていることなど、問題点が共通していました。

その後のうえだ環境市民会議総会では、議長に竹内秀夫さん、副議長に宇野親治さんが選出されました。



▲ミニ講演会&総会の様子

中島恵理氏の講演を聴いて

うえだ環境市民会議議長 竹内 秀夫

6月3日にサントミュージゼ大ホールで「環境フォーラム講演会」が開催されました。講師は上田市ゼロカーボン推進アドバイザーの中島恵理氏で「ゼロカーボン推進に向けてわたしたちにできること」と題して、豊富なデータに基づいて話されました。その中で、2030年までに温室効果ガスを2010年比で60%削減できないと気温の上昇を1.5度に抑えることができなくなり、2度上昇すると、例えば、猛暑日が約13倍になり、4度上昇すると猛暑日は約39倍になるそうです。仮に年間の猛暑日を10日とすると、2度上昇したとき、猛暑日は4カ月以上になり、4度上昇したときには1年中猛暑日ということになってしまいます。

2030年までに残された時間は8年しかありません。私たちの責任は重大です。環境問題に取り組む際、「自分にできることをコツコツと実践しましょう」と合言葉のように言ってきましたが、どうも「コツコツ」という速度では時間切れになってしまいます。これからは自分にできることを確実に実践するとともに、それを広めていくことが大事になります。これを読んで少しでも心が動いた方は、「うえだ環境市民会議」のメンバーになって一緒に活動の輪を拡げて行きましょう。

副議長の抱負

うえだ環境市民会議副議長 宇野 親治

6月総会において、はからずも副議長の大役を仰せつかりました。ご期待に沿えるよう竹内議長を補佐し、全力を尽くしたいと思います。

コロナ禍で、うえだ環境市民会議も含めて、我々の行動が制限され、今までの行動（活動）が許されなくなりました。結果、組織の弱体化、

人間の心の絆が細くなり、うえだ環境市民会議の活動も思うように出来ず、誠に残念であります。

我々世代に課せられた使命は、次世代に負担を廻すのではなく、できる課題を精一杯実践することです。

2019年12月に、長野県が都道府県として初めて「長野県気候非常事態宣言」を表明し、2030年度までに二酸化炭素排出量を60%減、2050年までに実質ゼロに向けて、併せて上田市は2021年2月に「上田市気候非常事態宣言～光・緑・人の力で目指す2050ゼロカーボンシティうえだ～」を表明し、11月には上田市ゼロカーボンシティ（ZCC）推進本部を立ち上げ具体的施策を実行しつつあります。私ども「うえだ環境市民会議」は積極的にかかわり、ゼロカーボンシティに向けた実行部隊として情報共有・啓発などを通じて貢献していきたいと思っております。

今後の予定

上田駅前清掃&打ち水大作戦

(雨天時は中止)

日時：8月5日(金) 15:00～16:00

場所：上田駅お城口

※新型コロナウイルスの状況により中止されることがあります。

